



Taipei Representative Office

台北海外進出最前線



海外に進出されている福岡銀行本店営業部のお取引先企業グループのご紹介です。

## Plenus 株式会社プレナス

TAIWAN PLENUS CO., LTD. (臺灣富禮納思股份有限公司)

はじめに

株式会社プレナスは、食の分野に1980年に参入し、持ち帰り弁当の店「HottoMotto(ほっともっと)」や定食レストラン「やよい軒」の事業を通して、現在では年間3億を超える食を通じて、日本国内のみならず世界へ届けられています。

「ほっともっと」「ブランドで2010年、海外初進出となる中国・北京に出店し、2012年に韓国、2016年にはオーストラリアに出店されています。「やよい軒」ブランドでは、2006年にタイ・バンコクにエリアフランチャイズで出店し、その後はシンガポール、オーストラリア、台湾、アメリカ、フィリピン、マレーシアと海外進出を加速させています。

今回は株式会社プレナスの台湾現地法人である臺灣富禮納思股份有限公司を訪問し、総經理の樺島様、商品本部本部長の畠山様にお話を伺いました。

### 1 台湾進出の経緯と現在の事業内容

当社は、台湾では「やよい軒」ブランドを開設しており、2014年1月に現地法人を設立し、7月に1号店を出店



しています。その後、2015年に3店舗、2016年に5店舗、2017年に3店舗、2018年に6店舗を出店し、フランチャイズ1店舗も含め、現在では台湾北部を中心に18店舗を開設しています。台湾は親日家が多く、付加価値の高い商品をご提供するにあたって、一定の所得水準があり、新北市という衛星都市も含め600万人以上の人口を抱える台北市を最初の出店先として選んでいます。台湾は親日家が多く、付加価値の高い商品をご提供するにあたって、一定の所得水準があり、新北市という衛星都市も含め600万人以上の人口を抱える台北市を最初の出店先として選んでいます。

## 2 進出後の課題など

台湾への進出当初は、出店場所の選定や確保、人員確保に苦労しましたが、特に食材調達に多くの課題を抱えていました。現在ではタレなどの調味料以外はほとんど現地調達となっていますが、進出当初は思うように量を調達できなかったため、安く調達することが出来ず、食材の多くを日本から輸入していました。台湾への食材の輸入規制は、時として急に変わることもあり、想定外の検査費用が発生する等対応を迫られることもあります。例えば、納豆は突然検査対象品となり、別添のからしに対する産地証明書が求められ、場合によっては、罰金が科せられた業者がありました。そのようなリスクをあまり抱えたくないとの思いから、現

地調達に徐々に切り替えを進めています。豚肉や鶏肉、うなぎは現地のものでも特に品質が高く、お客様にも受け入れられています。

## 3 今後の展開

2020年度末には30店舗到達を目指しております。SCM(サプライチェーンマネジメント)に積極的に取り組みたいと思っています。食材のみならず食器等の備品も含め輸入から現地調達へ切り替え、自社セントラルキッチンを稼働し、自社倉庫を保有し、自社物流網を構築したいと思っています。

### インタビューを終えて

台湾の飲食店(レストラン等)店舗数は18~19万店舗と言われている中、日本料理店は1万店舗を超えています。近年の日本食ブームを受け、日系外食チェーンなどの進出が相次いでおり、直近2年間で4,500店舗以上増加しています。

(台北駐在員事務所 平山 孝行)

### PROFILE

現地法人 : TAIWAN PLENUIS CO., LTD.  
(臺灣富禮納思股份有限公司)  
住 所 : 台北市中山区松江路100  
巷1号1F  
T E L : +886-2-2511-2515  
F A X : +886-2-2511-2557

親会社 : 株式会社プレナス  
住 所 : 福岡県福岡市博多区上牟田1丁目19番21号  
T E L : 092-452-3600

物志向」が一層強まっていると推察されます。

日本台湾交流協会による「2015

年度 第5回対日世論調査」では、「最も好きな国(地域)」に対する回答の約半数を日本が占めており、台湾はこれまでの「親日家」に加え、「知日家」も増えており、日本の商品やサービスに対し、親近感を持ち、信頼している消費者が多い一方で、消費者の目は肥えてきている印象です。

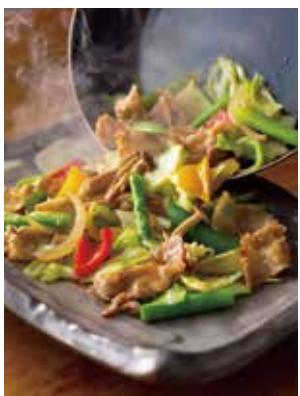
そのような状況下で、プレナス様は台湾でも「おいしさへのこだわり」等付加価値の高いサービスをご提供され、現地の多くの方々に支持されています。自社セントラルキッチンの稼働など新たなステージでの事業展開も視野に入れられており、今後更に台湾での事業を拡大されていく」と思っています。



▲親子丼



▲ひつまぶし定食



▲肉野菜炒め定食



▲ミックスとじ定食(豚)